



子育て・保育・食育・教育

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

令和5年9月作成
遠野市教育委員会

令和5年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果について、文部科学省から提供されましたので、その概略的な分析等を公表します。学校と家庭・地域が、連携をさらに深め、遠野の子どもたちの「知・徳・体」バランスのとれた成長のために、参考にしてください。

1 調査の目的（実施要領から抜粋）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象とする児童生徒

- (1) 小学校調査：小学校第6学年 167名（市内11校全校参加）
- (2) 中学校調査：中学校第3学年 186名（市内3校全校参加）

3 調査内容の概要

(1) 調査実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

小学校調査：国語・算数 中学校調査：国語・数学・英語

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する意識調査

(3) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件整備の状況等に関する調査

4 調査結果の概要について

(1) 全国と比較した各教科の正答率の概要

	小学校	中学校
国語	概ね全国平均	概ね全国平均
算数・数学	全国平均を下回る	全国平均を下回る
英語	(実施なし)	全国平均を下回る

【判断基準】全国平均正答率と遠野市正答率との比較
「概ね全国平均」＝±5ポイント未満
「全国平均を上回る」＝+5ポイント以上
「全国平均を下回る」＝-5ポイント以下

(2) 全国と比較した質問紙の肯定的回答の概要

	小学校	中学校
全国を上回る	20項目	26項目
概ね全国並み	27項目	20項目
全国を下回る	0項目	4項目

【判断基準】全国の肯定的回答の割合と遠野市の肯定的回答の割合比較
「概ね全国並み」＝±5ポイント未満
「全国を上回る」＝+5ポイント以上
「全国を下回る」＝-5ポイント以下

5 「教科に関する調査」の結果分析について

成果：全国と比較して正答率が高い、もしくは概ね全国平均の学習内容。

課題：全国と比較して正答率が低い学習内容。

① 国語

	成 果	課 題
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい送り仮名を使って漢字を書くことができるなど、言葉の特徴や使い方に関する知識・技能。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼文章と図表などを結び付け必要な情報を見つけることができるなど、情報の扱いに関する知識・技能。 ▼図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すこと。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○聞き取ったことをもとに、自分の考えをまとめて書くこと。 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すこと、古典の原文と現代文を対応させて内容を捉えること。（「古典」の知識・技能） 	<ul style="list-style-type: none"> ▼文脈に即した正しい漢字を書くこと。 ▼文章を読んで、自分の考えを深め、自分の経験や知識に触れて書くこと。

② 算数・数学

	成 果	課 題
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○比例のように伴って変わる二つの数量関係などの「変化の関係」の領域。 ○示された表やグラフから必要な数を読み取るなどの「データの活用」の領域。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼正三角形、台形などの図形を構成する要素や性質などの「図形」の領域。 ▼問題形式が「記述式」の問題。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○累積度数や四分位範囲などの意味を問う「データの活用」の領域。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼自然数の意味、計算や立式などの「数と式」の領域。（特に自然数の意味） ▼事柄が成り立つ理由や事柄の特徴を数学的に「説明する」ことを求められた問題。

③ 英語

	成 果	課 題
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を正確に聞き取る「聞くこと」の領域。 ○「読むこと」の領域の中で、短い文章について、概要や要点をとらえること。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼未来表現、適切な疑問詞を用いた過去形の疑問文、相手に依頼する場合の表現など「書くこと」の領域全般。 ▼「読むこと」の領域の中で、文と文をとの関係や情報などを正確に読み取ること。

6 「児童・生徒質問調査」の結果分析について

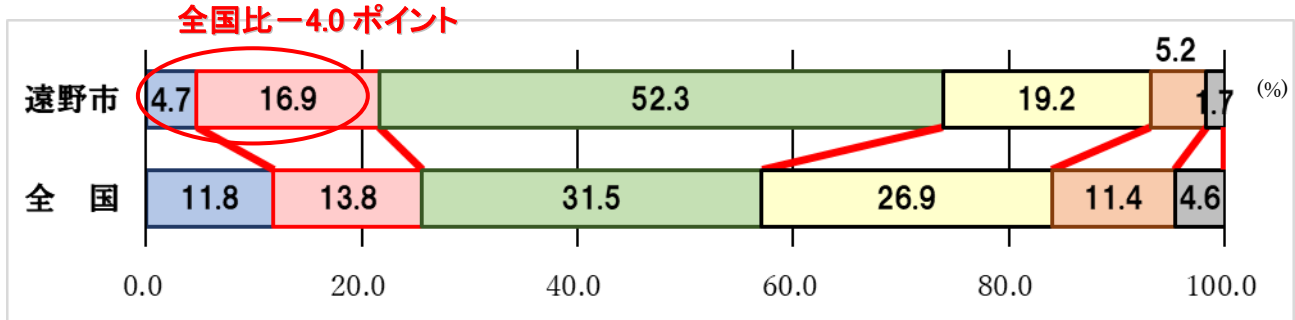
① 家庭学習に対する意識

ア) 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日どれくらいの時間、勉強をしますか？（学習塾・家庭教師、インターネット活用も含む）

■ 3時間以上 ■ 2～3時間 ■ 1～2時間 ■ 30分～1時間 ■ 30分以下 ■ 全くしない

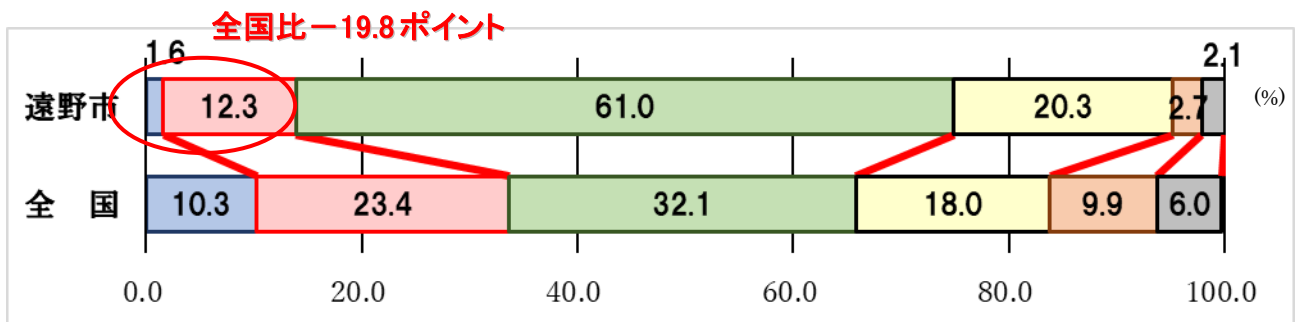
小学校

2時間以上の家庭学習に取り組んでいる児童について、全国と比較すると、マイナス4.0ポイントですが、1時間以上家庭学習に取り組んでいる児童が7割を超え、全国よりも良好な状況です。

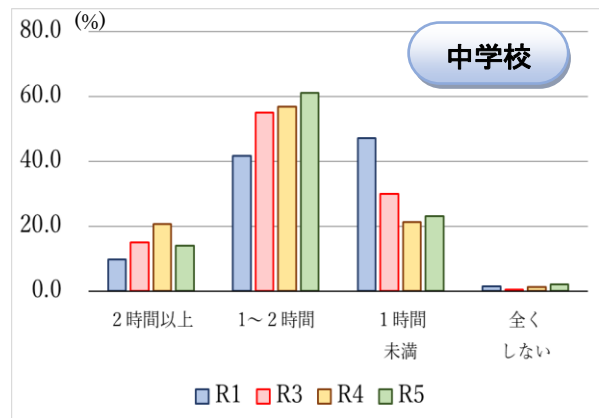
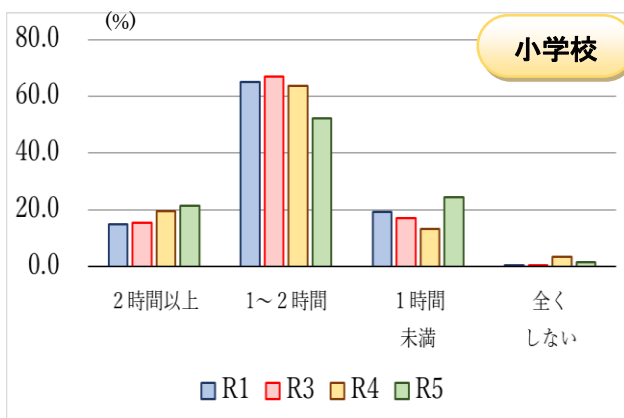


中学校

2時間以上の家庭学習に取り組んでいる生徒が全国と比較するとマイナス19.8ポイントですが、1時間以上は逆にプラス9.1ポイントと良好です。部活動加入率の差、通塾率の差が大きく影響していると考えられます。毎日の部活動がある中で、家庭学習の時間をどのように確保していくか、各家庭でのご支援をお願いします。



イ) 家庭学習時間の経年推移



小学校6年生で2時間以上の家庭学習に取り組む児童が年々増えていますが、今年度1時間未満の児童も増えていきます。中学校3年生で2時間以上の家庭学習に取り組む生徒の割合が昨年度より減り、全国と比較しても大幅に少ないという課題が見られます。しかし、1時間以上取り組んでいる生徒は増えており、全国よりも割合は大きいので、「どんな内容の家庭学習をするか」という質の面から家庭学習の充実を図っていく必要があります。

② 各教科に対する意識

各質問に対する肯定的回答(「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」)の割合

(単位 %)

	質問内容	小学校		中学校	
		遠野市	全国	遠野市	全国
興味 関心 意欲	国語の勉強は好きですか？	77.9	61.5	74.3	61.4
	算数(数学)の勉強は好きですか？	62.7	61.4	45.5	56.7
	英語の勉強は好きですか？			55.7	51.9
	国語の勉強は大切だと思いますか？	96.0	94.2	97.3	92.4
	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか？	97.1	94.2	86.7	85.0
	英語の勉強は大切だと思いますか？			86.6	88.0
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか？	96.6	92.8	95.8	88.7
	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか？	97.7	93.3	75.9	75.8
	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか？			91.4	87.5
理解	国語の授業の内容はよく分かりますか？	94.8	85.7	82.3	80.0
	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか？	84.3	81.2	61.5	73.3
	英語の授業の内容はよく分かりますか？			57.8	63.9

※表中の赤数字は全国を上回る数値。青数字は全国を下回る数値。

ア) 国語

小中ともに、国語の学習に向かう姿勢が全国と比較して良好な状況にあります。「国語の勉強は好きですか」の質問に「好きです」「どちらかといえば好きです」の回答は小中ともに全国を10ポイント以上も上回っており、また「よく分かる」という回答も全国を上回っています。

将来、社会に出たときに役に立つという実感を持たせられるような、国語を勉強してよかった、とますます感じられるような授業改善に努めていきます。

イ) 算数(数学)

算数(数学)の学習に向かう姿勢が、小学校では全国と比較して良好な状況がありますが、中学校は良好とはいえない状況にあります。「算数(数学)の勉強は好きですか？」の質問に「好きです」「どちらかといえば好きです」の回答は、小学校は全国を上回っていますが、中学校は10ポイント以上下回っています。

そこで、日常生活の場面と結び付けたり、算数・数学を学ぶことの良さを実感させたりしながら、より一層「わかる・できる」授業づくりに努めていきます。

ウ) 英語

英語の学習に向かう姿勢は全国と比較して良好な状況にあります。ただし、「よく分かりますか？」の質問に対して、4割以上の生徒が「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答しています。

グローバル化が進む中、将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思えるような魅力的な授業づくりに努めていきます。

③ 読書に対する意識

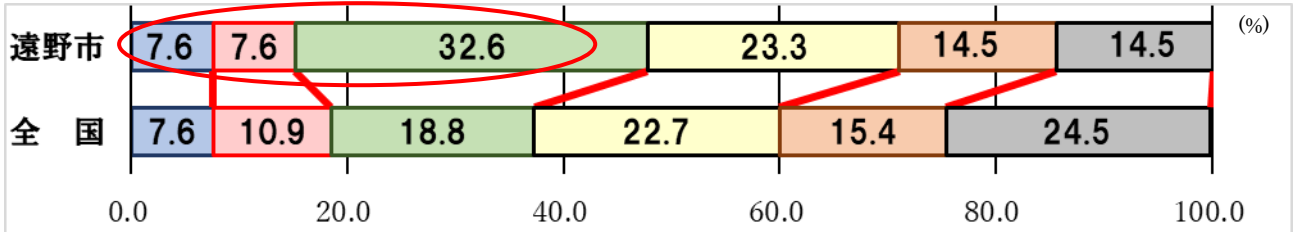
ア) 学校の授業時間以外に、普段、1日どれくらいの時間読書をしますか？

■ 2時間以上 ■ 1～2時間 ■ 30分～1時間 ■ 10～30分 ■ 10分以下 ■ 全くしない

小学校

30分以上の読書に取り組んでいる児童が5割近くいます。全国と比較するとプラス10.5ポイントとなっています。また、不読率も全国よりも低く、毎日少しでも読書に取り組む児童は全国よりも良好な状況にあります。

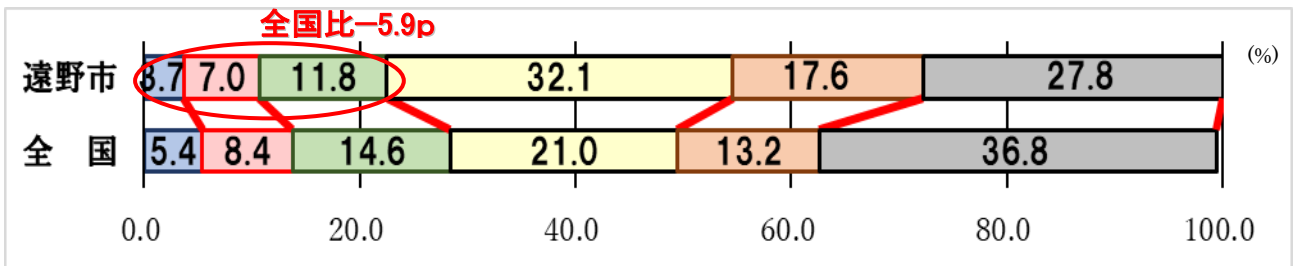
全国比+10.5p



中学校

30分以上の読書に取り組んでいる生徒は22.5%で、全国と比較してマイナス5.9ポイントでした。不読率は全国より低く、良好な状況にあります。しかし、28%もの生徒が読書をしていない状況は今後の改善点です。

全国比-5.9p



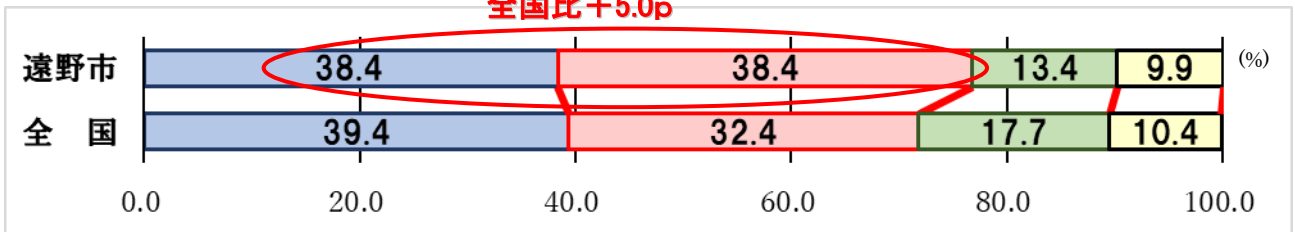
イ) 読書は好きですか？

■ 1:当てはまる ■ 2:どちらかという当てはまる
■ 3:どちらかという当てはまらない ■ 4:当てはまらない

小学校

読書が好きだという児童が8割近くおります。全国と比べても、5.0ポイント多くなっています。

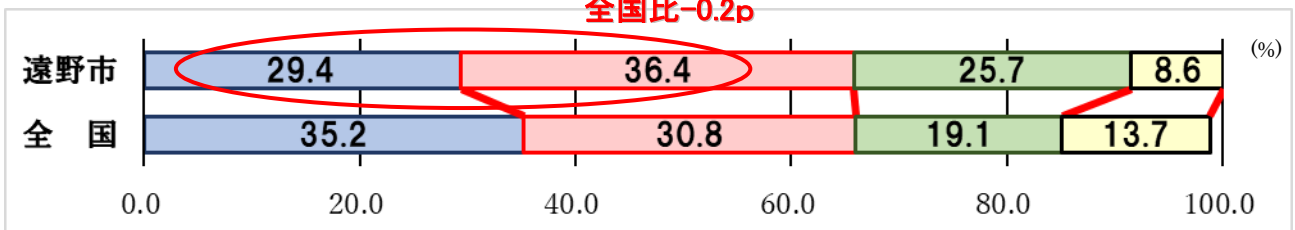
全国比+5.0p



中学校

読書が好きだという生徒は、全国とほぼ同じで7割近くおります。

全国比-0.2p



④ ICT 機器の活用に対する意識

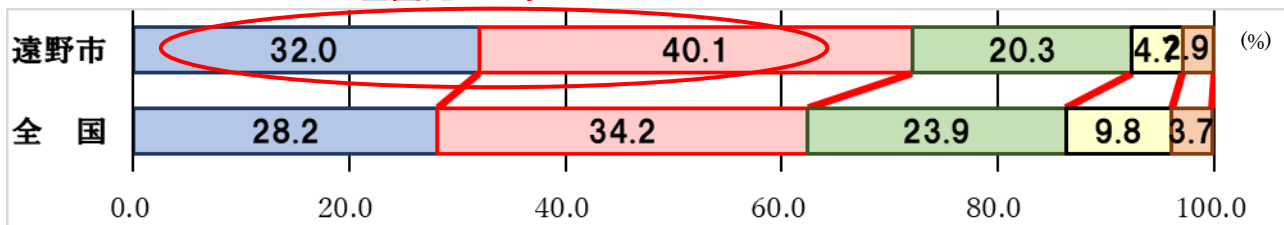
ア) 前の年に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか？

■ 1: ほぼ毎日 ■ 2: 週3回以上 ■ 3: 週1回以上 ■ 4: 月1回以上 ■ 5: 月1回未満

小学校

3割以上の児童がほぼ毎日授業で使用しています。週3回以上使用している児童は7割以上で、全国と比較するとプラス9.7ポイントとなっています。全国よりも多くの授業で活用されている状況にあります。

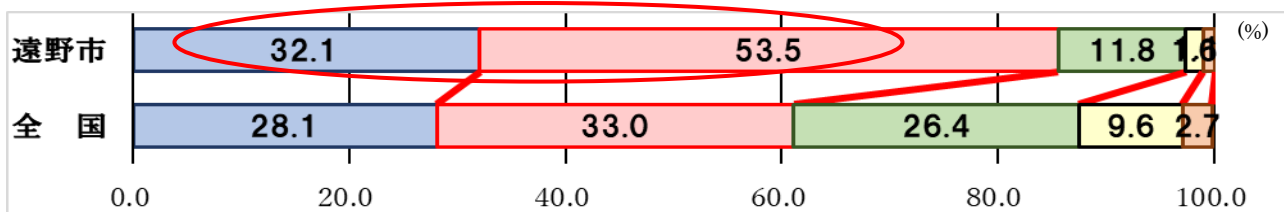
全国比+9.7p



中学校

3割以上の生徒がほぼ毎日授業で使用しています。週3回以上使用している生徒は8割を超え、全国と比較してプラス24.5ポイントとなっています。全国よりもかなりの授業で活用されている状況にあります。

全国比+24.5p



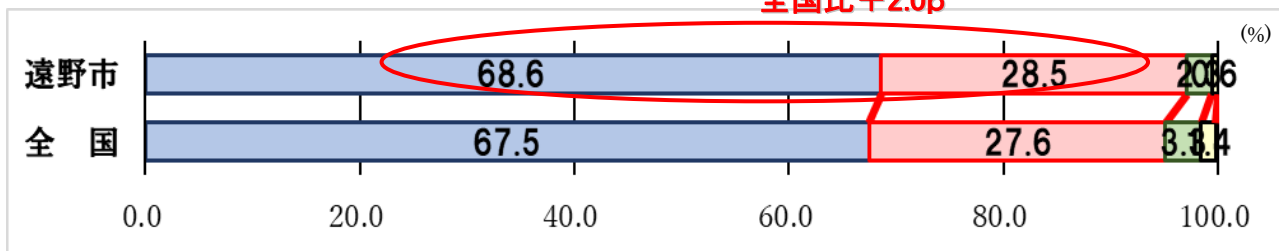
イ) 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか？

■ 1: 役に立つと思う ■ 2: どちらかといえば役に立つと思う
■ 3: どちらかといえば役に立たないと思う ■ 4: 役に立たないと思う

小学校

97%以上の児童が「役に立つと思う」「どちらかといえば役に立つと思う」と回答しています。全国よりもプラス2.0ポイント高くなっています。授業で使用する機会が増える中で、勉強に役立っているという実感を得ているためだと考えられます。

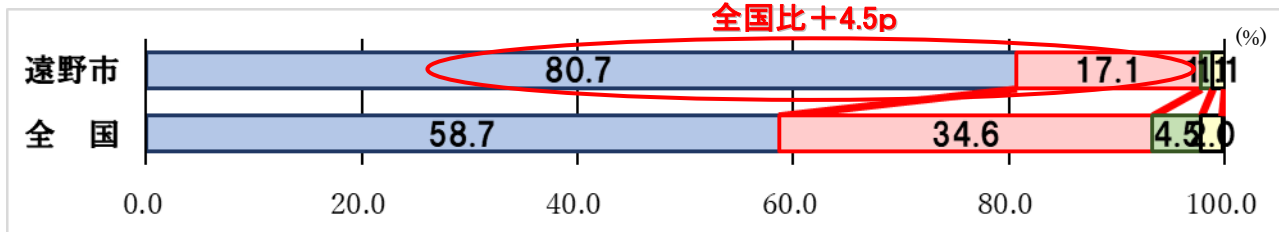
全国比+2.0p



中学校

約98%の生徒が「役に立つと思う」「どちらかといえば役に立つと思う」と回答しています。特に80%以上が「役に立つと思う」と回答し、全国よりも20%よりも高く、日常的に授業で使用している中で実感を強めていると考えられます。

全国比+4.5p



⑤ 遠野市の児童生徒の特長（肯定的回答）のみを抽出し、全国平均を100とした場合の状況）

※肯定的回答：「当てはまる」及び「どちらかと言えば当てはまる」の両回答の割合合計

ア) 授業に臨む姿勢・態度に関する調査

質問項目	小学生	中学生
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか？	112	105
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか？	105	109
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか？	113	115

小中ともに、積極的に授業に臨んでいる様子が分かります。授業内での話し合い活動を通じて互いに考えを深め合い、授業での学びを活用している様子も見られ、全国と比べてたいへん良好な状況にあります。

イ) 夢や目標・道徳性に関する調査

質問項目	小学生	中学生
自分には、よいところがあると思いますか？	100	94
将来の夢や目標を持っていますか？	104	107
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか？	111	117
人が困っているときは、進んで助けていますか？	103	111
人の役に立つ人間になりたいと思いますか？	100	105
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか？	101	104

小学生の98%、中学生の99%が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答しています。「困っている人がいたら進んで助けたい」「人の役に立ちたい」と回答している児童生徒も全国よりも多く、学校、家庭、地域の中で道徳性が育まれていることが分かります。

また、多くの小中学生が将来の夢や目標を持って、明るく学校生活を送っています。

ウ) 地域や社会に対する意識調査

質問項目	小学生	中学生
今住んでいる地域の行事に参加していますか？	129	179
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？	108	128

遠野市は、全国と比較して、地域との絆やつながりが強いことが分かります。特に、地域行事への参加率、そして地域に貢献したいという気持ちを持っている児童生徒が多いことは、全国に誇るべき状況です。特に、中学生の地域に対する思いの強さは全国や県を大きく上回っています。

エ) 学校生活や友人関係に対する意識調査

質問項目	小学生	中学生
学校に行くのは楽しいと思いますか？	103	107
友達関係に満足していますか？	105	106

遠野市の小中学生の88%が「学校は楽しい」と学校生活に満足しています。また、友達関係には小中とも94%が満足していると回答しています。学校生活や友達関係に悩んでいる児童生徒に寄り添って、みんなにとって楽しい学校生活になるように努めていきます。

⑥ 課題の見られた質問（肯定的回答の割合が全国と比較して、5ポイント以上下回った設問）

全国を大きく下回る質問について、小学校はありませんでした。

中学校は、「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」「英語の授業の内容は良く分かりますか?」「自分にはよいところがあると思いますか」の4問でした。生徒が数学・英語への興味・関心を持ち、数学・英語を学ぶことの楽しさを感じるとともに「分かった」「できた」が実感できるような授業改善に向けて、今後とも努めてまいります。また、自己有用感も高められるように支援してまいります。

7 改善に向けて

本調査から、見られた小中学生の状況を総括します。

	小学生	中学生
教科の正答率	<p>国語：概ね全国平均となっている。</p> <p>算数：全国平均を下回っている。</p>	<p>国語：概ね全国平均となっている。</p> <p>数学：全国平均を下回っている。</p> <p>英語：全国平均を下回っている。</p>
読書	<p>読書：読書が好きな児童は8割近くいる。全国と比較しても多くの児童が読書をしており、良好な状況である。約5割の児童が毎日30分以上読書をしている。</p>	<p>読書：読書が好きだという生徒は約6割いるが、30分以上毎日読書をしている生徒は約2割で、約3割の生徒は全く読書をしていない状況にある。</p>
ICT 機器の活用	<p>授業での活用：タブレットを3割以上の児童が毎日使用し、7割以上が週3回以上使用している。県や全国を大きく上回っている。</p>	<p>授業での活用：タブレットを3割以上の生徒が毎日使用し、8割以上が週3回以上使用している。県や全国を2割以上も上回っている。</p>
児童生徒の特長・よさ	<p>授業への姿勢：意欲もあり積極的。</p> <p>授業の理解：約9割の児童が「分かる」。</p> <p>地域参加：地域とのつながりが強い。</p> <p>道徳性：いじめを許さず道徳性が高い。</p>	<p>授業への姿勢：意欲もあり積極的。</p> <p>授業の理解：約7割の生徒が「分かる」。</p> <p>地域参加：地域とのつながりが強い。</p> <p>道徳性：いじめを許さず道徳性が高い。</p>
家庭学習	<p>学習時間：2時間以上取り組んでいる児童は全国と比較して少ないが、1時間以上の割合では高いことから、学習の内容より目安の時間を意識した家庭学習になっている様子が見える。</p>	<p>学習時間：小学生の学習時間よりも短い状況。2時間以上取り組んでいる生徒の割合が全国と比較して大きく落ち込んでいるが、1時間以上の割合は全国よりも高い。</p>

以上のことから、下記の点に取り組んでいきます。

(1) 遠野市教育委員会では

義務教育9年間で踏まえた指導の充実を図るため、小学校・中学校の連携を推進するとともに、以下の3つの柱について学校を支援し、確かな学力の育成に努めます。

【柱1】児童生徒が主体となる授業改善

【柱2】学校の組織的な取組

【柱3】家庭学習取組

①中学校区ごと、小中共通の課題に基づく授業改善及び授業交流会の実施

- ・第1回授業交流会
(遠中学区：R5.5.24 東中学区：R5.6.1 西中学区 R5.5.25)
- ・第2回授業交流会
(遠中学区：R5.9～10 東中学区：R5.9.5 西中学区 R5.11.10)

②研究指定校による授業実践交流会（公開研究会）の実施

- ・遠中学区：遠野北小学校(R5.10.25)
- ・西中学区：達曾部小学校(R5.10.6)

③指導力向上のための各種研修会等の実施

- ・全体研修会(R5.7.26 会場：あえりあ遠野 ほか)
- ・「若手教員の資質向上のための学習会（希望研修）」の実施(R5.8.7から2日間実施)
- ・「教員の資質向上のための学習会」の実施(R5.6.1、R5.7.19、R5.8.1、R5.9.4の4回実施)

④「指導力パワーアップ講座」の実施

- ・指導教諭及び専門的知見や優れた指導技術をもつ教諭等を積極的に活用し、市内教員全体の指導力の向上を図る。

⑤中学校に特定教科学習支援員を配置（数学）

⑥中学3年の英語検定受験費用全額補助及び英検対策講座の実施、中学1・2年に英検 IBA テストの実施

- ・英検講座3回の実施(8/26、9/18、10/28)
- ・英検 I B A（2月中旬～下旬 各中学校で実施）

⑦一人一台端末を活用した児童生徒個々の状況に応じた最適な学習の推進

(2) 各学校では

①授業改善【重点】

- ・中学校区の研究、校内研究、一人一授業等

②家庭学習の充実【重点】

- ・時間の確保
- ・授業と家庭学習の連動
- ・個別最適な課題

③諸調査結果の分析に基づく指導改善

④「まなびフェスト」等での家庭との連携の取組

8 家庭・地域の皆さんへ

遠野市の児童生徒は、地域への愛情を強くもっており、地域の将来について考え、今の自分ができることについて、よく考えています。また、全国と比較して、道徳性や社会性など、健全に成長しています。それは、各家庭や地域社会全体で、子どもたちの将来への見通しを持ちながら、育てていただいている成果の賜物と受けとめています。引き続き、子どもたちの健やかな成長のために、学校・家庭・地域がしっかりと協力しながら、子どもたちの成長を見守ってくださいますようお願いいたします。

教科に対する好き嫌いはあるものの、将来に向けてどの学習も頑張りたいという子どもたちの思いを大切にして、各学校では授業改善を中心とした学習面における課題解決に取り組んでいます。また、授業で学習した内容を確実に定着させるため、地域の方々のご協力をいただきながら放課後学習にも取り組んでいます。各家庭におかれましては、子どもたちの学習意欲の高さを基礎的な学習内容の着実な定着につなげられるよう、改めて家庭学習の時間や取り組み方についてお子様と一緒に考え、お子様が集中して日々の家庭学習に取り組むことができるよう、ご支援をお願いします。